

みんなまだ 萩原朔太郎に 負けている

詩人・萩原朔太郎が亡くなったのは、1942(昭和17)年5月11日でした。朔太郎の生誕の地前橋では、例年その命日に合わせ、その詩業を讃える「朔太郎忌」を開催しています。

今回は、第1部で作家・北村薫氏をお招きし朔太郎の色褪せない魅力について松浦寿輝氏(萩原朔太郎研究会会長)と対談していただきます。

第2部では、今年刊行100年を迎えた詩集『青猫』『蝶を夢む』をモチーフに、書き下ろしの新作リーディングシアターを上演。朔太郎が口語自由詩の確立者として揺るぎない評価を得た詩集の核心に迫ります。

第1部 対談「私の探偵と朔太郎」

北村薫
きたむらかおる



撮影：新潮社写真部

1949年埼玉生まれ。早稲田大学ではミステリクラブに所属。89年、「覆面作家」として『空飛ぶ馬』でデビュー。91年『夜の蟬』で日本推理作家協会賞を受賞。小説に『太宰治の辞書』『盤上の敵』『ニッポン硬貨の謎』(本格ミステリ大賞評論・研究部門受賞)『ひとがた流し』『鴉と雪』(直木三十五賞受賞)『語り女たち』『1950年のバックスト』『いとま申して』三部作、『雪月花 謎解き私小説』などがある。読書家として知られ、『ミステリは万華鏡』『読まずにはいられない 北村薫のエッセイ』など評論やエッセイ、『名短篇、ここにあり』(宮部みゆきさんとともに選)などのアンソロジー、新潮新書『自分だけの一冊——北村薫のアンソロジー教室』など創作や編集についての著書もある。2016年日本ミステリー文学大賞受賞、2019年に作家生活三十周年記念愛蔵本『本と幸せ』(自序朗読CDつき)を刊行。最新刊は、『水 本の小説』。

北村薫

松浦寿輝

松浦寿輝
まつうらひさき



作家・詩人・批評家。東京大学名誉教授(フランス文学・表象文化論)。日本芸術院会員。1954年東京都生まれ。東京大学大学院仏語仏文学専攻修士課程修了。詩集に『ウサギのダンス』『冬の本』(高見順賞)『鳥の計画』『吃水都市』(萩原朔太郎賞)『afterward』(鮎川信夫賞)『秘苑にて』など。小説に『花腐し』(芥川賞)『半島』(読売文学賞)『そこでゆっくりと死んでいきたい気持をそる場所』『川の光』『名誉と恍惚』(谷崎賞・ドゥマコ文学賞)『人外』(野間文芸賞)『無月の譜』など。エッセー・評論に『折口信夫論』(三島由紀夫賞)『エッフェル塔試論』(吉田秀和賞)『知の庭園 一九世紀パリの空間装置』(芸術選奨文部大臣賞)『明治の表象空間』(毎日芸術賞特別賞)『黄昏客思』『わたしが行ったさびしい町』など多数。

第51回
朔太郎忌

第2部 リーディングシアター「彼が青猫だった頃」

演出：生方保光(劇団ザ・マルク・シアター) 脚本：栗原飛宇馬

出演：渡辺 大 窪塚俊介

柳沢三千代 萩原朔美(前橋文学館館長) 大島政昭

大月伸昭(劇団ザ・マルク・シアター) 加藤汐音(県立高崎商業高校)



渡辺 大



窪塚俊介



柳沢三千代



萩原朔美

多くの人々を魅了してきた萩原朔太郎。『風立ちぬ』で知られる作家・堀辰雄も、若き日に朔太郎の第2詩集『青猫』に耽溺し、強い影響を受けたと言います。その堀に朔太郎の詩を教えたのは、親友の神西清でした。堀の朔太郎へのあまりの傾倒ぶりにスノビズムを感じとった神西は、堀の前で朔太郎をこきおろすようになり、ついには喧嘩になってしまいます。が、そんなエピソードまででありながら、堀が朔太郎からどんな影響を受けたのか、その内実は明らかになっていません。本作はその謎に焦点を当て、堀辰雄と神西清らをモデルにした登場人物たちのドラマを通じて、虚実を織り交ぜて『青猫』の魅力を浮かび上がらせてます。

チケット
申し込み方法

- ・4月14日(金)午前9時より受付開始。
- ・座席指定はできません。
- ・チケットの引き換えは、当日12時から昌賢学園ホール 2階のチケット売り場(小ホール階段上)で1,000円(現金のみ)と引き換えます。

<朔太郎忌申込サイト>

右の QR コードを読み取り、必要事項に記入のうえ
お申し込みください



- ・チケット半券は、2023年5月20日(土)まで前橋文学館観覧券としてご利用になれます。(当日午前中に前橋文学館を観覧されたい場合は、あらかじめお電話にてお知らせください)
- ・申込後のキャンセルは前橋文学館までお電話ください。
- ・イベント中止の場合は前橋文学館にて払い戻しをいたします。

前橋文学館
開催中の企画展

2階企画展示室(5月21日まで)
世界が魔女の森になるまで
第30回萩原朔太郎賞受賞者 川口晴美展

3階オープンギャラリー(6月4日まで)
“詩”をいきるひとたちへ
萩原朔太郎賞歴代受賞作品展



○会場アクセス

昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)
〒371-0805 群馬県前橋市南町三丁目62-1

詳細は昌賢学園まえばしホール HP をご確認ください。
<https://www.maebashi-cc.or.jp/maebashishibun/access>

アクセス(交通案内)

電 車 JR両毛線・前橋駅南口から徒歩8分

自動車 関越自動車道・前橋ICから車で20分

※駐車場は詰込みとなります。お早めにお越しいただくか、公共交通機関をご利用ください。